

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

市町名	大崎上島町
所属名	健康福祉課
担当者名	岡崎幸子
連絡先(電話)	0846-62-0301

タイトル	生活支援体制づくりの推進
区分(あてはまるものにチェックを)	<input checked="" type="checkbox"/> 自立支援、介護予防、重度化防止 <input type="checkbox"/> 介護給付費等適正化

現状と課題

人的資源が乏しくなっていく社会の中で、高齢者の生活を支えていくために、社会資源の整理を行い、負担なく支え合うことができる住民主体の体制づくりを考えていく必要がある。

第9期（令和6年度）における具体的な取組

- 生活支援コーディネーターの存在、役割について住民への周知
- 生活支援コーディネーターによる住民の困りごとの把握
- 住民主体の支え合い体制づくりの啓発活動
- 支え合う地域づくり協議体の開催
- 区長、民生委員児童委員、高齢者巡回相談員合同会議への参加
- 地域づくり会議への参加

目標（事業内容、指標等）

項目	第9期目標		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
地域支え合う推進員 配置数	1	1	1
支え合う地域づくり協議体	2	2	2

目標の評価方法

事業実績評価

取組と目標に対する自己評価シート(自己評価結果)
(実績評価)

実施内容

- 生活支援コーディネーターの存在、役割について住民への周知
- 生活支援コーディネーターによる住民の困りごとの把握
R6 介護支援ボランティア、寄り添いパートナーについての聞き取り、活動の再調整

- 支え合う地域づくり協議体の開催
R6 支え合う地域づくり協議体 開催なし

- 区長、民生委員児童委員、高齢者巡回相談員合同会議への参加
R6 参加なし

- 地域づくり会議への参加
R6 参加なし

自己評価結果 【 】←(◎, ○, △, ×のいずれか※を記載してください。)

- 社協より生活支援コーディネーターの担当がかわったので、コロナ禍で活動が縮小していたボランティアの見直しを測り、再調整を図った。

- 支え合う地域づくり協議体は設置しているが、検討する課題について十分整理できず、協議体委員会の開催はできていない。

- 地域づくり会議や区長、民生委員児童委員、高齢者巡回相談員合同会議への参加には至らなかった。

課題と対応策

今後の大きな課題である担い手不足を補う仕組みを、支援機関とできるだけつながることで、解決法を見出していかなければならない。

※「◎達成できた、○概ね達成できた、△達成はやや不十分、×全く達成できなかった」